

中間報告

Open Poseを用いた ラインアウトスロー分析

酒井貴弘

目的

- 自分自身の良いスローと悪いスロー、また代表選手と自分のスローの比較をすることで良いスローに必要な要素を明確にし、フォームの改善につなげる。
- スローにおける関節の重要性を認識する

分析の枠組み

- 自分のラインアウトスローを同じ画角から動画を撮り、それぞれを good と bad に分類する。また同じ画角のプロの動画を集める。
- Open Pose を用いてラインアウトスローの動きを検出し、関節点をつなぎ合わせた骨格モデルの形成をし、画像出力を行う。



今後の展望

- Open Poseで取得したデータをRstudioを用いて分析する
- Rstudioでの分析結果をもとに考察する
- 後ろからの動画だけでなく、横からの画角も追加する。